

I 学校経営の基本構想

(1) 学校経営の基本や基盤

- ア 日本国憲法、教育基本法、学校教育法をはじめとする教育関係諸法規、古賀市学校教育推進施策、並びに教育課程の基準である新学習指導要領を基盤とする。 <法令遵守>
- イ 福岡県教育施策及び古賀市教育行政の目標と主要課題に則り、現在と未来を考え、生徒や保護者、地域及び学校の実態に即したものにす。 <状況把握>
- ウ 中立性を確保し、公共性、公益性を目指して生徒の学力と進路の権利を保障し、保護者や地域と連携・協働する。 <顧客満足>
- エ 福岡県人権教育啓発基本指針、学校教育における人権に関する指導上の指針、古賀市人権施策基本指針に基づいて人権教育を推進する。 <自他尊重>

(2) 本校の教育目標（開校当時から継続）

『志を持って自ら意欲的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成』

人工知能(AI)の登場によって、急速に社会が変化し、予測が困難な時代となっていく。こうした変化に能動的に向き合い、他者と協働して課題解決したり、様々な情報を見極め、知識・技能の概念を理解し、情報を再構成したりして、目的を再構築できる価値のある学校教育が求められる。その人材を育てることを**基本理念（一人一人の価値が輝く）**としたのが、この教育目標である。

○「志を持って」とは、自他の現在と将来（夢や目標）の課題と向き合い、解決に向けて努力し続けることである。

○「自ら意欲的に学ぶ」とは、自他の現在と将来（夢や目標）を実現（表現）するために、**知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力を高める**ことである。

○「心豊かにたくましく生きる生徒」とは、自他への優しさ（厳しさ）や真理を求める心、自然を愛する心を持ち、変化の激しい社会の中でも挑戦し、自他の現在と将来（夢や目標）を切り拓いて（解決）いく、**生き抜く行動**がとれることである。

(3) 具体目標

ア めざす学校像

- ① 生徒が主体的に生活できる楽しい学校 <時間>
- ② 生徒ファーストが見える化された学校 <空間>
- ③ 生徒・保護者・地域が任せられる学校 <安心>

イ めざす生徒像〈校訓〉

- ① 決めた目標に向かって、能動的に取り組む生徒 <自主>
- ② 自ら考え、判断し、決断して行動していく生徒 <創造>
- ③ 自他を大切に、自己実現に向かっていく生徒 <敬愛>

ウ めざす教師像

- ① 主体的に判断し、迅速に動くことができる教師 <自主>
- ② 創造的なアイデアを生み出すことができる教師 <創造>
- ③ 子どもファーストを目指して議論ができる教師 <敬愛>

エ めざす授業像

- ① 自身の学びや経験を、活かせる場面がある授業 <主体的学び>
- ② 自他の考えを交流できる、広げる場面がある授業 <対話的学び>
- ③ 「見方・考え方」を用いて、問題解決・定義する場面がある授業 <深い学び>

オ めざす家庭・地域との連携

- ① 基本的生活・学習習慣の定着に協力する家庭・地域 <共有>
- ② 本校の教育を理解し、協働して子育てする家庭・地域 <支持>
- ③ 社会をよりよく生きる価値に寄り添っていく家庭・地域 <愛情>

(4) 本校の教育課題・経営課題

ア 教育課題

- ① 学びに向かう力の育成 (体力・学力の向上)
- ② 自律力の育成 (いじめ・不登校の減少)

イ 経営課題

- ① 学校・家庭・地域(CS)の連携・協働による信頼関係の構築
- ② 学校組織として連携の強化と教職員の指導力の向上

(5) 経営の基本方針

**生徒・保護者と教職員の信頼関係の構築を基に
生徒一人ひとりに寄り添い 繋(キズナ)を大切にし 互いに学び合う古賀東中学校**

2 本年度の経営の重点

(1) 本年度の重点目標

『**学校・家庭・地域(CS)の連携・協働を通して、“自信(自他の価値に共感できる)”をもって活動する生徒を育てる**』

昨年度、新型コロナウイルス感染症により、緊急事態宣言に伴う臨時休校や、学校行事をはじめとして、正常な教育活動を実施できない状況が続いた。また、新しい生活様式に伴いこれまでの日常生活が大きく変化した。このことは生徒に限ったことではないが、とりわけ生徒たちに与える影響は大きかった。何よりも教室での授業スタイルの変化、学校行事のない日々、部活動の制限などで、生徒の自尊感情や学びに向かう意欲は低下した。本校は、「日本一あたたかい学校」づくりを大きな柱として、また、これまでの築きあげてきた「東風魂四訓」を学校の基盤としている。

そこで、生徒一人ひとりの自信(自尊感情の高まり)を取り戻すためにも、感染症対策を行った上で、新しい生活様式による学校行事等の推進が肝要と考える。そのためには、生徒会活動の充実、ブロック制による教育活動やコーチングによる生徒指導の充実を重点としたい(経重1・3・4)。このことを通して、「自分たちの誇りや正しい価値観で動ける」、「上級生の姿に憧れ、古賀東中学校の一員として誇りや自信を持つ」集団に育て、教師は「信じて任せられる生徒」にしたいと考える。

また、次年度の研究発表会を見据えるとともに、コロナ禍でできる授業形態等の工夫を行い、学びに向かう人間性の育成に近づきたい(経重2)。昨年度取り組んだ「セルフワーク」型学習活動の発展・充実を目指したい。

ただ、新型コロナウイルス感染の動向を鑑みると、家庭や地域との連携については厳しいものとする。

(2) 重点目標達成のための経営の重点

経営の重点1: 非認知能力 (目標達成に向かう、他者と協働する、感情をコントロールする力)の育成

経営の重点2: 認知能力 (知識・技能の基礎力)の育成

経営の重点3: 確かな人権感覚(当事者の立場になった人権意識)の育成

経営の重点4: 繋がりを深める生徒会活動とキャリア(体験から経験)教育の充実

経営の重点5: 強い小中の連携・協働とCSの連携・協働の取組

経営の重点6: 不祥事防止の取組

古賀市全小・中学校共通の取組の実践

- 健やかな子どもを育成する授業中の「立腰」の徹底
- 35人以下学級編成を生かした、合理的配慮が見える授業の実践
- 全国学力・学習状況調査や県学力調査結果等を生かした主体的・対話的な深い学び(授業)の改善
- 気になる生徒を中心とした合理的配慮のある「個別の支援・指導計画」の作成
- 年1回の東風フェスタの実施
- 体育授業における補強運動の徹底
- 昼休みにおける運動場での遊びの継続化
- 古賀市部活動指針に則った、部活動の徹底

東風魂四訓(よりよく生きるための基盤)

あいさつ 感謝の心 時間厳守 環境美化

学校の教育目標

志を持って自ら意欲的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

めざす学校像

- ① 生徒が主体的に生活できる楽しい学校 <時間>
- ② 生徒ファーストが見える化された学校 <空間>
- ③ 生徒・保護者・地域が任せられる学校 <安心>

めざす生徒像

- ① 決めた目標に向かって、能動的に取り組む生徒 <自主>
- ② 自ら考え、判断し、決断・行動していく生徒 <創造>
- ③ 自他を大切にし、自己実現に向かっていく生徒 <敬愛>

めざす教師像

- ① 主体的に判断し、迅速に動くことができる教師 <自主>
- ② 創造的なアイデアを生み出すことができる教師 <創造>
- ③ 子どもファーストを目指して議論ができる教師 <敬愛>

実態(○成果・●課題)

- 純朴で、素直な生徒が多い。
- 将来の自分(夢や目標)を実現するための学びに向かう生徒の育成
- 主体的に活動する生徒の育成

実態(○成果・●課題)

- 専門研修や教科等研などへの参加意欲が向上
- 学校運営への組織的な参画意識の向上
- 目標達成に向けたスキルアップの向上 (若年教師の育成)

教育課題

- ① 学びに向かう力の育成 (体力・学力の向上)
- ② 自律力の育成 (いじめ・不登校の減少)

経営課題

- ① 学校組織の連携強化と指導力の向上
- ② 学校・家庭・地域(CS)の連携・協働による信頼関係の構築

重点目標

学校・家庭・地域(CS)の連携・協働を通して、“自信(自他の価値に共感できる)”をもって活動する生徒を育てる

経営の重点

- ・指導力の向上(学習、生徒指導)
- ・組織マネジメント力の向上
- ・コロナ禍における校内OJTの推進

校務運営構想へ

組織運営・教育活動・内外環境・評価